コマンド通信確認方法

① 「デバイスマネージャ」画面より接続した USB ポート番号を確認します。

- 🚑 デバイス マネージャ ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻) ヘルプ(比) 🗢 🄿 🖬 🚺 🖬 😡 🗄 🕁 IDE ATA/ATAPI コントローラ 🗉 📺 PCMCIA アダプタ 🗄 🖾 SD ホスト アダプタ 🗄 🕕 コンピュータ ■ 📲 サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ 🗄 🜆 システム デバイス 🗄 💯 セキュリティ デバイス 🖻 🧰 ディスク ドライブ 🗄 騙 ディスプレイ アダプタ 🗉 👰 ネットワーク アダプタ 🗄 🭓 バッテリ 🖮 🏣 ヒューマン インターフェイス デバイス 🗄 🔲 プロセッサ ▣ <mark>ѿ=タヺル デパイス</mark> 🔄 🦷 ポート (COM と LPT) USB Serial Port (COM4) ■ 🖁 マウスとそのほかのポインティング デバイス 🗉 🛄 モデム 🗄 💵 モニタ 🎍 🟺 ユニバーサル シリアル バス コントローラ 🗄 🗇 記憶域コントローラ
- (例: COM4 に接続された場合)

- ② 「ComT」ソフトを起動し、下記設定を行います。
 - ・表示モードを「CHR」へ変更
 - ・「Main Port」へポート番号を入力(COM4の場合は「4」と入力)
 - ・「Baud = 9600 Data=8 Parity=なし Stop=1 Flow=なし」となっていることを確認
- ③ 送信側装置(PC、PLC 等)よりコマンドを送信し送信したコマンドと改行コード (<CR><LF>)が表示されることを確認します。

(「ComT」 画面)

| 晋 | - • × |
|--|-------|
| ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 通信(C) ヘルプ(H) | |
| D 🛒 🖬 X 🖻 🖻 🎒 🔃 💡 | |
| HEX CHR TXT TXTZ M S 212 CODE HEX Line Stop | |
| Main Port 4 💌 Baud= 9600, Data= 8, Parity= なし, Stop= 1, Flow= なし | |
| | * |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | - |
| | A |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | - |
| CTS DSR RNG RSD RTS DTR | |
| b7°1 | |

※「ComT」ソフト使用方法につきましては作成者 HP 等でご確認下さい。 「ComT」ダウンロードページ

http://www.vector.co.jp/soft/win95/hardware/se471464.html

※マルチコントローラを使用している場合は、マルチコントローラの「設定」画面より 下記設定がされているかを確認して下さい。

「設定」→「次回起動後に有効」タブ

- ・「RS232C 制御を有効にする」 ヘチェックが入っていること。
- ・「COM ポート」へ USB ポート番号を入力されていること。
- ・「Baud rate」~「Delimiter」までの設定が合っていること。

| 定ファイルの選択 | 開入 |
|----------------------|---|
| | 名前をつけて |
| 定 次回起動後に有効 | |
| 表示言語 | Default |
| 🕖 RS232C制御を有効にする | COMポー(COM4 Baud rate = 9600 bps, Parity = None Data bits = 8, Stop bit = 1, Delimiter = CrLf |
| EasyInpector実行ファイルパス | C¥Program Files¥SKYLUcace+Edo,Inc |
| | ※別PCのEasyInspectorはそれぞれのPC上で起動して下さい。 |
| レロユニットの動力作 | |
| | ● Start)、Start2入力でそれぞれのEIの検査を個別に行う |
| | ─ 単一のEasyInspectorを起動して 枠001-006 の合否を出力する |
| | 🥅 リセット入力があるまでOK/NG出力を保持する |
| その他 | |
| ■ 監視開始・終了履歴をLOG | ロオルダに保存 |
| 🔄 設定の自動切替を行う 📃 | 自動切替設定 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |